

歩いて 見て 触れて 遊ぶ
春夏の八幡平を満喫！！

2026年 春夏号

第 33 号

ぷらす1 八幡平



十和田八幡平国立公園

祝・八幡平地域国立公園指定70周年



《上》現在の八幡沼／《下》昭和42年の八幡沼（八幡平市松尾鉱山資料館提供）

祝・八幡平地域国立公園指定70周年

1956年7月10日に八幡平地域が十和田国立公園に追加指定される形で「十和田八幡平国立公園」となってから、2026年で70周年を迎えます。ここでは、公園指定前から現在に至るまでのできごとを、当時の資料とともに振り返ります。

十和田八幡平国立公園<八幡平地域>年表

黎明期へ公園指定に向けて

- 1875 (明 8) 阿部藤助、熊沢硫黄鉱山開業。その後蒸ノ湯温泉再整備。
- 1881 (明 14) 阿部仁八、後生掛温泉を開発。
- 1882 (明 15) 粕谷太郎衛門、鹿湯(玉川温泉)湯治場を開発。
- 1906 (明 39) 花輪の宮城佐次郎、八幡平を踏査し文筆で紹介。
- 1927 (昭 2) 植物学者牧野富太郎、八幡平で植物調査。
- 1934 (昭 9) 朝日新聞の文筆家杉村楚人冠、八幡平登山口で落馬。その顛末などを執筆・雑誌掲載し、秋田八幡平が全国に知れ渡る。(p2)
- 1931 (昭 6) 阿部貞一、北日本随一の高所に藤七温泉を開業。
- 1936 (昭 11) 厚生省(現厚生労働省)、十和田湖・奥入瀬・八甲田を「十和田国立公園」に指定。
- 1939 (昭 14) 「日本百名山」の深田久弥、冬の八幡平をスキーで縦走。

国立公園指定へ関係者の奔走へ

- 1948 (昭 23) 秋田・岩手両県知事、八幡平地域の国立公園指定を要請。国立公園審議会が来訪(1回目)、岩手山・八幡平を調査。バカヤロウ事件発生。(p3)
- 1950 (昭 25) 八幡沼避難小屋「陵雲荘」・茶臼岳避難小屋「茶臼山荘」落成。岩手県職員瀬川経郎、「国立公園候補地八幡平の概要」を編纂。国立公園指定に向けた基礎資料となる。番号付きの冬期用スキー指導標設置。(八幡平山頂が300番)
- 1951 (昭 26) 高松宮殿下、スキーツアーで八幡平へ。松尾鉱山〜八幡平山頂・藤七温泉〜蒸ノ湯を縦走。(p2)
- 1952 (昭 27) 国立公園審議会が来訪(3回目)、八幡平を調査。ヒルメシ事件発生。(p3)
- 1954 (昭 29) 国立公園審議会が「八幡平は国定公園」と答申。これを受け、秋田・岩手両県知事は「不満の極み」として国立公園指定を再陳情。
- 1955 (昭 30) 国立公園審議会来訪(5回目)。
- 1956 (昭 31) **7月10日、八幡平地域が国立公園に追加指定される。「十和田八幡平国立公園」誕生!**

公園指定後へ観光ブームを経て現在へ

- 1958 (昭 33) 八幡沼避難小屋「陵雲荘」(2代目)落成。
- 1959 (昭 34) 八幡平温泉郷(玉川・後生掛・大深・大沼・蒸ノ湯・藤七)が国民保養温泉地に指定。
- 1962 (昭 37) 秋田県初の有料道路(トロコ〜蒸ノ湯)開通。
- 1963 (昭 38) 国設ブナ森スキー場(現秋田八幡平スキー場)開設。
- 1964 (昭 39) 7月、深田久弥著「日本百名山」初版発行。八幡平が掲載される。
- 1967 (昭 42) 八幡平観光道路開通。盛岡から八幡平山頂への直行バス運行開始。
- 1968 (昭 43) 八幡平・岩手山・秋田駒ヶ岳の山頂部が規制の厳しい「特別保護地区」に指定。蒸ノ湯〜八幡平山頂の車道が開通。同時期に玉川温泉〜田沢湖の車道も開通。
- 1970 (昭 45) 8月15日、八幡平横断有料道路「八幡平アスピーテライン」供用開始。
- 1975 (昭 50) 八幡沼避難小屋「陵雲荘」(3代目)落成。
- 1981 (昭 56) 環境省が大沼に「八幡平ビジターセンター」設置。採取等規制植物の指定。
- 1986 (昭 61) 公園指定30周年を記念し、八幡平頂上展望台(2代目)建設。
- 1987 (昭 62) 八幡平地区パークボランティア「ヒナザクラ会」設立。
- 1992 (平 4) 「八幡平アスピーテライン」の料金徴収廃止、無料通行が開始となる。
- 1993 (平 5) 国立公園管理団体「自然公園財団」が八幡平支部を設置。
- 2004 (平 16) 八幡沼避難小屋「陵雲荘」(4代目)落成。
- 2012 (平 24) 阿部藤助の名を冠した「藤助森」(1604m)が国土地理院地形図に掲載。
- 2014 (平 26) 八幡平頂上展望台(3代目)落成。餅まきをして祝い。
- 2016 (平 28) 台湾からの観光客が山頂自然探勝路の「鏡沼」の雪解けの現象を「ドラゴンアイ」と名付けSNSで投稿、拡散し残雪期の人気スポットになる。
- 2026 (令 8) **八幡平国立公園指定70周年**

黎明期 ~八幡平を世に知らしめたできごと~

先人たちの努力で、鉱山や温泉の開発、道路の建設、八幡平のPRが行われ、少しずつ八幡平が世に知られていった。著名人の来訪などもきっかけとなり、山小屋や登山道、冬山登山用の目印となる指導標などが整備されていく。

国内のできごと

- 1871 (明 4) 年：廃藩置県
- 1914 (大 3) 年：東京駅開業
- 1919 (大 8) 年：カルピス発売
- 1934 (昭 9) 年：渋谷駅に忠犬ハチ公像が設置

できごと1

楚人冠落馬事件 ~秋田八幡平が全国に知れ渡るきっかけ~



朝日新聞の文筆家・杉村楚人冠は、湯瀬ホテル来訪の折、かねてから聞かされていた八幡平の景勝を見るべく登山を計画したが、登山口で乗っていた馬からバランスを崩して落ちた拍子に左手を骨折、登山は中止に。湯瀬温泉での療養中に、落馬した際の顛末や名人接骨師の処置、地元の人のもてなしの様子をユーモアあふれる筆致で「アサヒグラフ」に掲載。テレビやネットのない時代に著名人が書いた旅行記の効果は絶大で、秋田八幡平が全国に知れ渡るきっかけとなった。

翌年、湯瀬ホテル社長の関直右衛門らの呼びかけにより、登山口近くに「落馬記念碑」が建立される。楚人冠は除幕式のため再訪。碑には、揮毫を依頼された楚人冠が、「禅林類聚」という句集から引用した漢文が書かれている。念願の八幡平登山もかない、その際の様子を「アサヒグラフ」に掲載している。

参考：広報誌「あきた」(通算119号/1972年4月1日)

すぎむらそじんかん 杉村楚人冠 (1872-1945)



明治末期から昭和前期の東京朝日新聞で活躍したジャーナリスト。本名・広太郎。日本で初めて新聞社に調査部や記事審査部を設け、新聞の縮刷版を企画発行したり、朝日新聞社主催の日本初の世界一周旅行を企画、引率するなど、先進的な新聞人であった。一方で、独特の皮肉とユーモアにあふれた文章は人気を博した。夏目漱石とは東京朝日新聞社の同僚として交流があった。『玉川温泉』の名付け親の一人でもある。

(写真提供：我孫子市杉村楚人冠記念館)



(左)1935(昭10)年、八幡平に登頂した杉村楚人冠。当時の山頂は花輪営林署によって土盛りが築かれていた。(写真提供：我孫子市杉村楚人冠記念館)



(右)国道341号線にある落馬記念碑。道路建設のため現在の場所に移設された。

「我は行く荒草裏、汝は又深林に入る」

できごと2

高松宮殿下スキー登山のため来訪 ~「樹氷の殿堂」冬の八幡平宣伝の第1弾~



1949(昭24)年秋、高松宮様が明後年の1951年(昭26)年3月下旬に八幡平へ春スキーに来られるという連絡が入った。当時の藤七温泉にはとても宮様をお泊めできないので、岩手県が前年末までに山小屋「蓬莱荘」を造ることになった。

ところが、雪の心配が出てくる9月下旬になっても標高1400mの現場に材料が上がらない、大工が足りないなどでなかなか工事が進まず、結局、11月頃からの厳冬期の工事となり、2mの積雪と闘いながら宮様ご来訪直前の3月半ばにどうにか完成した。

宮様の一行は、ご案内と警護などでかなりの人数になった。事前の連絡で、藤七温泉の湯は出るが、水道が凍っていることは知っていた。浴槽の湯は熱湯に近い熱さで、相談の末、浴場の片隅に雪を入れる板囲いを造ることにした。

やがて宮様一行の到着である。宮様には個室をと考えていたが、みんなと一緒にの方が賑やかでいいとおっしゃったとか、光栄だが窮屈なことになった。夜通し部屋のストーブを焚く係は、音を立てずにストーブの面倒を見るので大変だ。浴場係は、浴槽に雪を入れる人と雪を補給する人がいる。湯加減が良くなってもすぐ熱くなるため、宮様の入浴中は青年が脱衣場に待機し、頃合いを見て雪を浴槽に投入した。気さくな宮様だからこそできたことだっただろう。

翌30日、朝日の眩しい白一色の中を宮様一行は秋田側に出発された。宮様は2年連続で来訪されたほか、1961(昭36)年に秋田県で行われた国体でも八幡平を来訪されている。(参考：瀧川隆郎「自然公園ひとすじ」)



◀(左)昭和30年頃の絵ハガキの写真。ハガキには「素晴らしい樹氷は夢の国でありスキーヤーのパラダイス」と印刷されている。(右)県営ヒュッテ「蓬莱荘」。昭和26年完成。道路開通のため取り壊しとなるまで、登山者に親しまれた。(写真提供：十和田八幡平国立公園管理事務所)

国立公園指定 ~指定に奔走した人々~

戦後復興期に国立公園指定への機運が再度高まる。秋田・岩手両県一丸となった活動は紆余曲折の末実を結び、八幡平は国立公園に追加指定される。同年冬の遭難事故や蒸ノ湯の土砂崩れ(昭48)がありながらも、公園施設やアクセスなどインフラ整備が進み、八幡平の観光ブームは加速度を増していく。

国立公園指定までには秋田・岩手両県の頑張りがありました



▲視察のため秋田焼山を登山する国立公園審議会調査団。中央の下村会長はカゴに担がれている。



▲八幡平山頂を視察する国立公園審議会調査団。山頂の写真は平らな地面に見えるが、土盛りの上にいるのかもしれない。冬期指導標300番が設置されているのがわかる。
写真提供: 十和田八幡平国立公園管理事務所(上下とも)

色々ありましたが…



(写真提供: 岩手日報(昭31年7月29日付) 岩手日報社の許諾を得て転載しています)

国内のできごと

- 1948(昭23)年: 「東京ブギウギ」ヒット
- 1953(昭28)年: テレビ放送スタート
- 1956(昭31)年: コルティナ冬期五輪 日本人初のメダル

事件1

一生懸命やったんですが!? バカヤロウ事件

国立公園審議会委員の田村剛ほか5名の委員が候補地八幡平を現地調査することになり、8月15日、案内役を秋田県から引き継ぐために岩手県の関係者一行が仙岩峠の麓で待っていると、チャンバラ映画のような竹カゴを含む一行が到着した。カゴは、足が不自由な田村委員のために秋田県が準備した。

カゴをトラックに載せ、委員方は車で、カゴ担ぎ要員の青年たちは車を追いかける形で県道を栗石から網張温泉に向かった。温泉の手前はジグザグ道で所々に砂利の山がある悪路。県土木部のMさんは懸命に車を操作したが、ついにバックすることに…。が、それも思うようにいかない。夕暮れが迫る気配に、委員の誰かがMさんに「君、それでも運転免許を持ってるのか、バカヤロー」と1度ならず罵声を飛ばした。後ろをついてきた青年達は、追いついた途端にどなられる格好となり、「村長が言うから、明日の盆の十六日を犠牲にして来たのに何の話だ、バカヤローとは!」と全員下山してしまった。

やむなく委員方には宿まで歩いて頂くことになったが、田村委員のカゴを担ぐ要員はもういない。協議した結果、村長と助役が担ぎ上げ、荷物は記者が協力して運びあげた。
(参考: 東北地方環境事務所「十和田八幡平国立公園八幡平地域指定50周年記念誌『八幡平のあゆみ』」)

事件2

精一杯の歓迎が裏目に ヒルメシ事件

8月1日、国立公園審議会調査団を出迎えるため秋田県側では、湯瀬や玉川温泉で化粧した御姉さんたちで派手に出迎え・昼食のふるまいをした。この歓迎が逆に「ああいう形での機嫌取りは以ての外!」と審議会の逆鱗に触れてしまう。国立公園指定に向けての活動は秋田・岩手両県一丸となって進めていたため、岩手県職員瀬川経郎は「機嫌を直してもらう機会は今晚の接待しかない」と一計を案じる。藤七温泉での入浴・按摩、食事に酒は一切出さず、食事は油気が少なく柔らかいものを主体、食後は抹茶をお出する、という年配の方向けのおもてなしをしたところ、審議会は激賞。委員の一人・下村海南は上機嫌に筆を執り、役場が急遽用意した紙に「八幡平のうた」7つを次々としたためた。
(参考: 瀬川経郎「自然公園ひとすじ」)

「十和田八幡平国立公園」誕生!

7月10日、ついに国立公園に追加指定! 同年9月28日には記念式典が盛大に開催され、小畑秋田県知事と阿部岩手県知事が八幡平頂上に標柱を設置した。また八幡平の開発に尽くした故人(阿部藤助・関直右衛門ら)に感謝状が贈られた。

《標識の地固めを終った両知事はにこやかによろこびのあく手をガッチと交した。この時見守る登山者のなかから「八幡平万歳」の声がまきおこった。よろこびの声は「アオモリトドマツ」の樹海を遠く遠く流れて全山がよろこびにわいているようだ。報道関係者の注文であく手は二回、三回……五回とくり返される。「もういいじゃないか」とみんなから爆笑がわく。本当にたのしそうだ。》(岩手日報 昭31年9月29日より)

せき なおうえもん
関 直右衛門
(1873-1943)

昭和6年、生家の旅館を大改造して近代的な湯瀬ホテルを開業。玉川温泉やそこに至る県道の開発・冬期用スキー指導標(坂比平~山頂~松尾)の設置に私財を投じた。十和田八幡平の名称宣伝など郷土の振興に尽力し、鹿角の観光に新時代を築いた。



写真提供: 鹿角市教育委員会 参考: 「鹿角人物事典」(鹿角市教育委員会)、「鹿角市先人顕彰集」(「鹿角市先人顕彰集」刊行委員会)

あべ どうすけ
阿部 藤助
(1886-1928)

私財を投じ、八幡平登山の起点だった谷内集落から蒸ノ湯温泉~八幡平山頂に至る登山道を整備。山スキーの開発にも努め、通年の八幡平観光を促進させた。地元・宮川村の村長等の役職を無報酬で23年間勤め尽力するなど、生涯を八幡平の興隆に捧げた。



公園指定後 ~観光ブームを経て現在へ~

八幡平は多くの人にとって身近な存在になり、観光道路の整備も相まって来訪がブームに。一方、利用の増大はゴミの増加や湿原の植生破壊などの問題も引き起こした。

昭和30年代



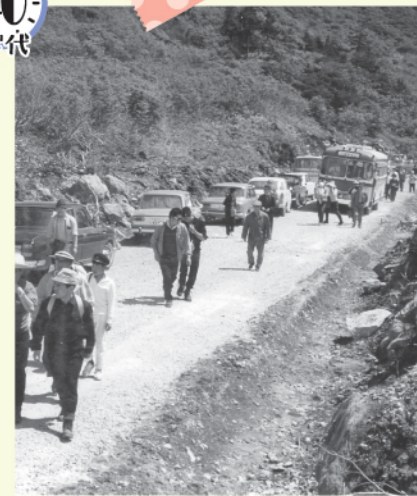
昭和31年ころの大沼温泉前で。服装からして当時の山ガールだろうか。当時の流行だったのか、みんな帽子がおしゃれ。
(写真提供: 八幡平レークイン)

子供のころは隣の土産屋で釣り竿貸してだの。浮島もあって、よく乗って遊んだよ。
(八幡平ビジターセンタースタッフくりやま)



昭和31年ころの大沼自然探勝路。現在の展望デッキは、かつてボート乗り場の棧橋だった。水面にボートが浮かぶのが見える。
(写真提供: 八幡平レークイン)

昭和40年代



昭和45年、10年の歳月を経て八幡平スピーテラインが貫通。秋田と岩手が山頂部を經由して行き来できるように。貫通式では八幡平中学校ブラバン部のマーチ演奏の中、美しい樹海を縫ってパレードが行われた。
(参考: 広報はちまんたい昭45年9月10日) 写真提供: 八幡平市松尾鉱山資料館



昭和40年ころの八幡平山頂展望台。石積みの上に簡素な木柵があるものであった。
(写真提供: 伊多波富雄氏)

国内のできごと

- 1974(昭49)年: モンチッチ発売、爆発的人気に
- 1988(昭63)年: 青函トンネル開通
- 1996(平8)年: 「たまごっち」ブーム

中学の遠足で、1泊2日で八幡平山頂~焼山縦走して玉川温泉まで行ったっけな。泊まった後生掛温泉があったかくて、持っていったアンパンがあめだ(腐った)のも思い出だ…。
(八幡平ビジターセンタースタッフくどう)



昭和40年ころの秋田焼山・毛せん峠。
(写真提供: 木村友之氏)



昭和40年ころの八幡平山頂の湿原。多くの人が湿原に入り込んでいる。球技や焚き火をして楽しんだという記録もある。
(写真提供: 八幡平市松尾鉱山資料館)

当時は湿原や高山植物の貴重さも利用者にはあまり浸透してなくて「これが普通」だったんだよね。ゴミも「埋めて帰るのがマナー」ってガイドブックに書いててびっくりした!

昭和40年代~現代



貴重な高山植物を記念に持ち帰ったり、湿原などの踏み荒らしによる生態系破壊が問題となる。そこで環境省は自然公園法に基づいて植物等の採取を禁止したほか、ビジターセンター設置による自然保護啓発活動の強化、木道整備や立入禁止区域の設定も進められた。

湿原は、八幡平パークボランティアなどの手により植生回復作業が行われているよ。

そして現在...

清掃団体の発足や環境省による保護計画の整備、普及啓発活動により、自然環境保護に対する意識は徐々に高まっていった。指定60周年以降の10年では、SNSで八幡平の紅葉や「ドラゴンアイ」が拡散され、インバウンドによる海外からの観光客や、今までスキーやスノーシュー以外の利用がほぼ無かった「残雪期」の観光客の来訪が増加している。時代の移り変わりによって変化していく課題に地域で取り組み、これから先へも秋田・岩手の大切な宝である八幡平の美しい風景や自然を残していけるよう努力していきたい。

たっぷり満喫!

八幡平ビジターセンター開催

八幡平ふれあいイベント

— お申込みにあたって —

- お申込締切は各イベント開催日の1週間前です。
- お申込時に①氏名②生年月日③住所④電話番号⑤レンタルの有無⑥ご宿泊の有無(統計を取っています)をお知らせください。すべてのお申込先は最終ページをご参照ください。
- 初参加の方および秋田八幡平温泉郷(→p11-p12)にご宿泊の方:優先的にご参加を承ります。
- 当該イベントに前年参加された方:仮受付とさせていただきます。締切日(開催1週間前)にご参加の可否をご連絡いたします。
- お申込者様は当日開始15分前から集合場所にて受付を行います。
- 原則小雨決行です。天候等の理由により中止・コース変更の場合があります。前日13時時点で催行判断し、中止の場合のみご連絡いたします。
- ※多人数のグループのお申込の場合は別日に「予約型ガイドウォーク」をご利用いただくか、他機関のガイドをご案内する場合があります。ご了承ください。

レンタル:長靴 300円、ストック 500円、スノーシュー 1,000円、散策用スキー 1,500円

ざくざく残雪歩き 冬と春が両方味わえる今だけの景色へ

4月18日(土) 8:00~16:00 よんご沼 残雪トレッキング

集合 八幡平ビジターセンター **参加費** 2,500円
定員 15名(最少催行人数4名) **持ち物** 雪上歩きのできる服装、スノーシュー、ストック、雨具、防寒着、水や菓子など行動食、昼食、携帯トイレ

※雪上登山経験者対象※八幡平の古道4合目にひっそりたたずむ「よんご沼」周辺をめぐる、青く輝く雪解けの沼、幹回り10mの巨樹「マンダの木」など、早春の景色を満喫します。(約6km)



ざくざく残雪歩き 「ドラゴンアイ」だけじゃもったいない

4月29日(水・祝) 9:30~14:30 八幡平山頂 残雪の湖沼群めぐり

集合 八幡平パークサービスセンター(山頂見返峠駐車場内) **参加費** 3,000円(駐車場料金込み)
定員 15名(最少催行人数4名) **持ち物** 雪上歩きのできる服装、スノーシュー、ストック、雨具、防寒着、水や菓子など行動食、昼食、携帯トイレ

標高1,600mの八幡平山頂部によく春の気配が訪れ、山頂自然探勝路の火口湖たちが雪の中から青く輝く水面を現し始めます。残雪をスノーシューで散策して「八幡平ブルー」を見に行こう。(約4.5km) ※八幡平アスピーテラインが当日朝に通行止めとなった場合は、大沼周辺のスノーシュー散策を行います。



深山に咲く花 キヌガサソウに逢いに行く

6月6日(土) 9:30~16:00 長沼 新緑トレッキング

集合 八幡平ビジターセンター **参加費** 大人2,500円・15歳以下1,000円
定員 15名(最少催行人数4名) **持ち物** 登山のできる服装、雨具、防寒着、水や菓子など行動食、昼食、携帯トイレ

新緑の森を歩く森林浴トレック。大沼~長沼のブナ林、針広混交林をめぐる。見頃を迎えるキヌガサソウ群落やサンカヨウなどが楽しみ! 標高1200mによく訪れた春を満喫します。(約6km)



名残峠を桃色にそめるイワカガミ群落

6月13日(土) 8:00~16:00 秋田焼山トレッキング

集合 後生掛公衆トイレ駐車場(八幡平アスピーテライン沿い) **参加費** 4,000円
定員 15名(最少催行人数4名) **持ち物** 登山のできる服装、雨具、防寒着、水や菓子など行動食、昼食、携帯トイレ

※登山経験者対象※新緑のブナ林と荒々しい火口周辺の景色など変化に富んだ眺望を楽しむ本格トレッキング。イワカガミやイソツツジ、初夏の秋田焼山を彩る高山植物たちがとても鮮やか!(約9km)



「リユネビル刺繍」で八幡平の花を描く

6月20日(土)・6月21日(日) 9:00~16:00 (2回開催) 高山植物の壁掛け刺繍ワークショップ

集合 後生掛(大沼)キャンプ場 **参加費** 各回2,000円
定員 各回6名(最少催行人数2名) **持ち物** 昼食(周辺施設で外食可)、眼鏡・拡大鏡(必要な方)

ビーズやリボンなどを使った刺繍で、八幡平の花をモチーフに壁掛けを作ります。講師は鳥海山麓で活動する刺繍アーティスト池田佳代氏。合間にはガイド付きの大沼散策でリフレッシュ。(散策約1km) ※実際制作する作品の題材は写真と異なります。



案内人/池田佳代(アトリエサンカヨウ)

八幡平三大展望地のうちの2つを制覇!

7月4日(土) 9:00~15:30 茶臼岳~八幡平縦走トレッキング

集合 八幡平パークサービスセンター **参加費** 3,000円(駐車場料金込み)
(山頂見返峠駐車場内)

定員 15名(最少催行人数4名) **持ち物** 登山のできる服装、雨具、防寒着、水や菓子など行動食、昼食、携帯トイレ

八幡平の東側、展望地として知られる「茶臼岳」・「源太森」と、黒谷地湿原を巡り、雄大なパノラマの景色と初夏の高山植物のお花畑を堪能します。(約6km)



くどう隊長の昆虫図鑑づくりを助けて~!

7月19日(日)・8月15日(土) 18:30~21:30 (2回開催) 八幡平昆虫調査隊~ブナ林に住む虫たちを調べよう!~

集合 八幡平ビジターセンター **参加費** 各回500円

定員 各回15名(最少催行人数2名) *小学生以下は保護者同伴

持ち物 防寒着、虫かご、捕虫網、ヘッドライトや懐中電灯、軍手、マスクか顔用ネット

標高の高い所や湿原に生息する昆虫を調べて、虫好きスタッフくどう隊長の調査を手伝おう!スライドレクチャーの後、ライトトラップに集まる虫(蛾類がメイン)を捕まえ、図鑑で名前を調べます。



今、改めて学ぶ ツキノワグマってどんな生き物?

7月25日(土) 9:00~12:30 夏 湿原に集まるクマたちの痕跡を見る

集合 八幡平ビジターセンター **参加費** 大人1,000円・15歳以下500円

定員 15名(最少催行人数4名) **持ち物** 登山のできる服装、雨具、防寒着、水や菓子など行動食

夏に大沼の湿原に集まるクマたちの暮らしを知り、クマに出会わない方法、出会った時の対処法などクマとの適切な距離感を学びます。スライドによるレクチャーの後、大沼でクマパトロールを行うビジターセンタースタッフに同行し、痕跡探しや自動撮影カメラによる調査を体験します。クマ撃退スプレアの試射体験もあり。(散策約2km) ※クマを見に行くツアーではありません。



五合目ふけの湯から八幡平登山! 中盤のタチギボウシ群落は必見

8月1日(土) 8:00~14:30 八幡平古道トレッキング

集合 蒸ノ湯温泉手前駐車場 **参加費** 4,000円(帰路の『ドラゴン号』乗車代別途)

定員 15名(最少催行人数4名) **持ち物** 登山のできる服装、雨具、防寒着、水や菓子など行動食、昼食

※登山経験者対象※原始の八幡平が残るといわれる、最も古くに通った登山道をハイク。少しハードなアップダウンを繰り返し、八幡平山頂付近に広がる湿原地帯を目指しつつ、盛夏の花々を満喫します。(約9km)



坂道すいすい 電動アシスト付自転車で国立公園めぐり!

8月29日(土) 9:30~14:30 快適サイクリング&「曾利ノ滝」トレック

e-bikeまたはE-MTB、ヘルメット、プロテクター、双眼鏡、ナップサック レンタル付き

集合 八幡平ビジターセンター **参加費** 2,000円(中学生以上対象)

定員 12名(最少催行人数4名) **持ち物** 登山のできる服装、雨具、防寒着、水や菓子など行動食、昼食

電動アシスト付自転車「e-bike」と「E-MTB」で国立公園をめぐるサイクリング&自然散策ツアー。目指すは、森の中の名瀑「曾利ノ滝」。落差15mの直瀑は迫力満点。柱状節理の岩盤、深緑の滝つぼに癒やされます!(自転車19km+散策1km)



8月11日(火・祝)「山の日」は1日八幡平で遊ぼう!

「山の日」とは・・・山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝するため制定された国民の祝日。

01 おっきなブナの木に登ろう! ツリークライミング®体験 (全5回)

要予約/体験約1時間 (小学生以上対象) ※要予約ですが、空きがあれば当日体験可能です

①9:00~ ②10:10~ ③11:20~ ④13:20~ ⑤14:30~

集合 後生掛(大沼)キャンプ場管理棟 **参加費** 1,000円

定員 各回5名(最少催行人数1名) **持ち物** 長袖長ズボン(必須)、スニーカー(サンダル不可)防寒着、水や菓子など行動食

専用のギアを使って安全に楽しく登れる現代の木登り。大きなブナの木に触れて、登って、高い枝の上に座れたら、木と友達になれるかも! **案内人:** ツリークライミングクラブやまねっこ



02 ミニガイドウォーク

予約不要(15分前までに受付)

・30分コース ①11:00~ ②13:00~ ③15:00~

・60分コース ①9:30~ ②11:30~ ③13:30~

集合 八幡平ビジターセンター前特設会場 **参加費** 無料(双眼鏡レンタル付き)

持ち物 歩きやすい服装、水分補給できるもの

八幡平愛あふれるガイドスタッフたちの自然解説を聞きながら、大沼周辺をのんびり散歩。



03 E-MTB 試乗体験 (全6回)

予約不要(15分前までに受付)/体験約30分



電動アシスト付きマウンテンバイクで、オフロード走行や快適なサイクルツーリングを体験!

①9:30~②10:30~③11:30~④13:00~⑤14:00~⑥15:00~

集合 八幡平ビジターセンター前特設会場

参加費 500円 ※中学生以上対象

(無料レンタル: ヘルメット、プロテクター、ナップサック)

04 薪割り体験

予約不要(9:30~15:00の間随時開催)



薪割りしたことある? バカーンと割れたら爽快!!!

集合 八幡平ビジターセンター前特設会場

参加費 無料

斧やナタなどを使って、丸太の薪割りに挑戦! 未経験の方にもレクチャーします。割った薪は、05のはし作りや06の「はちモン」を作ろう!にも使えます。

05 八幡平の木ではし作り体験

予約不要/所要時間約1時間(9:30~15:00の間随時開催)



世界で一つのはしを作ろう。04で割った薪を材料として使用OK!

集合 八幡平ビジターセンター前特設会場

参加費 500円

生木をひたすら削る『グリーンウッドワーク』体験!

06 「はちモン」を作ろう!

予約不要/所要時間約30分(9:30~15:00の間随時開催)



「はちモン」ってなんだ!? 八幡平の森に住んでるかもしれない「八幡平モンスター」。想像しているんなら「はちモン」を作ろう!

集合 八幡平ビジターセンター前特設会場

参加費 300円

森の材料を自由に使ってクラフト体験。04で割った薪を材料として使用OK!

予約不要!「八幡平ビジターセンター」体験プログラム

国立公園ガイドウォーク

開催日 4月19日(日)、4月26日(日)、5月3日(日・祝)、5月4日(月・祝)、5月17日(日)、6月7日(日)、6月14日(日)、7月12日(日)

1日2回開催【AM】10:00~【PM】13:30~ **所要時間** 約2時間

集合 八幡平ビジターセンター(開始時間15分前までにスタッフにお申し付けください)

参加費 500円(秋田八幡平温泉郷で宿泊の方は300円) ※双眼鏡無料レンタル

持ち物 歩きやすい服装、雨具、防寒着

ビジターセンタースタッフが大沼自然探勝路周辺をいっしょに散策しながら、国立公園八幡平のいきものたちの魅力を紹介するガイドツアー。双眼鏡で野鳥を探したり、草木や昆虫の細部をじっくり観察します。



随時開催 木エクラフト体験

スタッフにお申し付けください。(受付時間10:00~16:00) 体験時間 ①約3時間、ほか各約30分

①木のスプーン&はし作り 八幡平の木をじっくり削ってスプーンや箸を作ろう。1個:800円*上級者向け・小学生以上対象

②森のフォトフレーム はがきサイズのフォトフレームを木の実などで飾ろう。1個:800円

③焼き印&ウッドバーニング 木の輪切りにオリジナル焼き印や電熱ペンで絵や文字を書こう。1個:300円~

④木の小鳥の絵付け 手のひらサイズのまんまるこりに電熱ペンや絵の具で模様を描こう。1個:700円

⑤「はちモン」を作ろう! 森の材料を自由に使って、きみだけの「八幡平モンスター=「はちモン」」を作ろう! 1個:300円



無料「泥火山」案内

ビジターセンター裏手100mのところで見られる珍しい地熱現象「泥火山(でいかざん)」を、解説を交えてご案内します。

※スタッフにお申し付けください

(受付時間9:00~16:00の間随時開催) 体験時間約20分

※スタッフ人数によりご案内できない場合があります。

※残雪期は長靴やスノーシューが必要になる場合があります。

(レンタル→p5)



八幡平ビジターセンター

八幡平の北の玄関口、アスピーテライン秋田県側の大沼地区(標高950m)、「大沼自然探勝路」の目の前にあり、湿原とブナの森に囲まれた豊かな自然が見られます。1階は公衆トイレ、2階が展示施設とインフォメーションになっており、道路・登山道情報や高山植物の開花情報など、十和田八幡平国立公園を知り・歩く拠点として最初に立ち寄り便利です。駐車場は1階部分にあり、入口は階段を上った2階です。入口わきに車椅子用駐車場(2台分)があります。



八幡平の素晴らしい自然に触れあっていただくことを目的に、様々な催し(→p5~p8)を企画・開催しています。

プライベートガイドは
いかがですか？

予約型ガイドウォーク

1週間前まで要予約

ご希望の日日に八幡平の見どころをご案内。グループ利用で参加費がお得になります。
*イベント開催日等、対応できない日があります。ホームページ予約フォームのカレンダーをご確認ください。
*現地集合となります。送迎は行っておりません。*お申込みにあたっての詳細はp9をご参照ください。

【時間】	ショートコース	ロングコース	9:30~13:30	プレミアムコース	①9:00~②8:00
【持ち物】	歩きやすい服装、長靴か登山靴、雨具、防寒着、サングラス、日焼け止め、虫よけ対策、水や菓子など行動食 (プレミアムコースは+昼食) ※レンタル:p5参照				
【料金】	参加者1名様あたりの料金(※未就学児無料)				
	ショートコース	参加者1名様:4,000円	2~3名様:2,500円	4名様以上:2,000円	15歳以下:1,000円
	ロングコース	参加者1名様:7,000円	2~3名様:4,500円	4名様以上:3,500円	15歳以下:1,500円
	プレミアムコース	参加者1名様:12,000円	2~3名様:8,500円	4名様以上:6,000円	15歳以下:3,000円



▲対応可能日の
確認・ご予約は
こちら

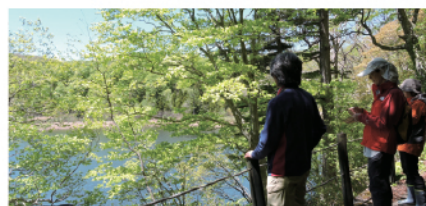
ショートコース
(約2時間)

湿原の四季をめぐる

①大沼自然探勝路をひとまわり

集合:八幡平ビジターセンター

深緑のブナ林、四季折々の湿原の景観を楽しもう。(残雪期はスノーシュー散策)



地球のエネルギーを体感(*5月上旬~)

②後生掛自然研究路をひとまわり

集合:後生掛温泉食堂「ごしょカフェ」入口

火山活動に伴う地熱現象が間近に!噴気地帯をめぐる非日常の世界をご案内。



ロングコース
(約3時間)

残雪の白と沼の青のコントラスト 期間限定(5月中旬~6月上旬)

①「ドラゴンアイ」と雪解けの湖沼群

集合:八幡平パークサービスセンター(山頂見返峠駐車場敷地内)

「ドラゴンアイ」だけじゃない!周辺火口湖の宝石のような光景と、残雪期ならではの見どころをご案内。(積雪に応じスノーシュー散策)



オオシラビソ樹林と雲上の湿原

②日本百名山 八幡平のんびり歩き

集合:八幡平パークサービスセンター(山頂見返峠駐車場敷地内)

①以外の時期はこちら。かの深田久弥氏から「八幡平の真価は高原逍遙」と絶賛された多彩な景色を体感。



日本庭園のような自然の造形

③湯治遊山の道 長沼トレッキング

集合:蒸ノ湯温泉駐車場

八幡平の中でも一番古い「旧道」をのんびり歩き、静寂の湿原・大谷地や、森の中の沼・長沼へご案内。



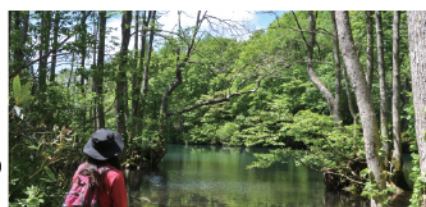
プレミアムコース
(約7~8時間)

湯治客が通ったいにしへの道

①沼を巡る古道あるき

集合:蒸ノ湯温泉駐車場

八幡平の100年前の湯治客も歩いた道で、ひみつの沼めぐりをしながら八幡平の歴史をたどろう。



変化に富む景観を楽しむ登山

②毛せん峠~秋田焼山トレッキング

集合:後生掛公衆トイレ駐車場(八幡平アスピーテライン沿い)

眼下に広がるブナの新緑や、活火山らしい荒涼とした景観を楽しみながら「名残峠」の絶景を目指そう。



八幡平国立公園指定70周年関連イベントのご案内

令和8年度 八幡平山開き

日時 6月20日(土) 10時~

会場 八幡平山頂レストハウス

- 内容
- ①安全祈願
 - ②八幡平山開き式
 - ③八幡平登頂セレモニー

当日は、来場者には鹿角市発祥のきりたんぼ鍋をふるまいます。この機会に「八幡平」にぜひお越しください。

問合せ:鹿角市観光交通課 TEL 0186(30)0248

特別企画

鹿角・盛岡広域エリア 観光デジタルスタンプラリー 八幡平満喫コース

秋田・岩手の県境に広がる八幡平の雄大な自然を堪能しながらスタンプを集めて賞品をゲットしよう!その他豪華賞品も多数ご用意!詳細は決まり次第、順次公開いたします。
※令和8年7月中旬から実施予定。

問合せ:鹿角広域観光推進会議事務局
(秋田県鹿角地域振興局 総務企画部 地域企画課内)
TEL 0186(22)0457

70周年の八幡平を
更に深く知り、楽しく歩く

散策ガイドのご案内

鹿角市・山の案内人

八幡平のガイド認定を受けた、鹿角市や周辺地域住民による「山の案内人」がご案内。バスツアーなどの団体ガイドにも対応。
料金:2時間までの案内10,000円~(ガイド1名あたり)
問合せ:0186-22-0555(道の駅かづの「あんたらあ」)



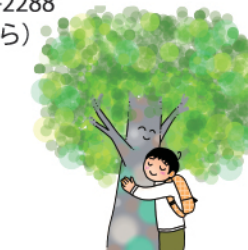
八幡平ビジターセンター

大沼の目の前で、国立公園八幡平エリアの自然情報を発信。「国立公園ガイドウォーク(p8)」や「予約型ガイドウォーク(p9)」は1名からご案内。
料金:p8・p9参照
問合せ:0186-31-2714(八幡平ビジターセンター)



森林セラピー®ガイド

東北に5か所あるうち秋田県唯一の「森林セラピー基地」がある八幡平の雄大な森で心と体の癒しを提供する。認定森林セラピストが案内する散策イベントも開催。
料金:要問合せ
問合せ:0186-31-2288
(八幡平温泉ゆらら)



八幡平散策Q&A

Q.どんな服装で行けばよい?

A.温度調節が楽な「動きやすい重ね着」がおすすめ。天候や時期によっては寒く感じることもあるので、風を通さない羽織ものがあると安心。山頂部は6月上旬ころまでは雪があるので、長靴を持っていこう。(山頂施設に有料レンタルあり)

Q.ペットは連れて行ってもよい?

A.ほとんどがリードをつけての同行が可能だが、八幡平山頂自然探勝路は他の利用者や野生動物への配慮からペットの同行をご遠慮いただいている。地域マナーの尊重をお願いしたい。

Q.クマは出るの…?

A.八幡平は全域がツキノワグマの生息地。「クマ鈴などの音を鳴らす」「複数で歩く」など、クマが先に気づいて回避してくれるよう対策を取ろう。ビジターセンターでの情報収集もおすすめ。正しく怖がり、心配しすぎず足を運んでほしい。

Q.ドローンを飛ばしたいんだけど…?

A.林野庁へ「入林届」の提出が必要になる。また、自然の音を楽しみたい人や野鳥の声を聞きたい人など山へ入る目的はみな様々なので、混雑する日中や曜日は避けるなどの配慮をお願いしたい。



泊まっのんびり 日帰りゆったり **秋田八幡平**

温泉郷インフォメーション

ほとんどの温泉が日帰り入浴OK! いろいろな泉質が楽しめる温泉郷です。歩き疲れを癒したり、リラックス&リフレッシュしたり。そのときどきの体と心の声を聞きながら、湯めぐりしてみませんか?

各施設の番号は、p13~p14「八幡平エリアマップ」の番号とリンクしています。

・各料金は税込みです。掲載情報は2026年1月時点のものです。・詳細については各施設へ直接ご確認ください。

硫黄泉の湯

八幡平中腹～山頂エリアに多い。いかにも温泉らしいミルクブルーの湯色と独特の香りの湯。生活習慣病に効果あり。



1 とうしち 藤七温泉 彩雲荘

東北一高所にある天然温泉。湯床からブクブク湧く自慢の各種露天風呂は開放感バツグン! 雄大な岩手山の朝焼けと雲海の景色が楽しめる。

- ◆宿泊料金: 1室2名でご利用の場合 1泊2食付 1名 15,250円～
- ◆日帰り入浴: 大人 700円 小学生 350円 (8:00～17:00)
- ◆ランチ: あり
- ◆営業期間: 4月下旬～10月下旬
- ◆お問い合わせ: 090-1495-0950



2 ふけのゆ 蒸ノ湯温泉

開湯は寛永元年・八幡平最古の秘湯。複数の泉質と数種類の開放的な野天風呂が楽しめる。おむつ交換台や授乳スペース完備で、子育て家族に嬉しい「こどものえき」認定宿。

- ◆宿泊料金: 1室2名でご利用の場合 1泊2食付 1名 16,650円～
- ◆日帰り入浴: 800円 (10:00～随時受付 ※要問合せ)
- ◆ランチ: あり
- ◆営業期間: 4月下旬～11月上旬 (不定休あり・要問合せ)
- ◆お問い合わせ: 0186-31-2131

各施設の情報はこちらでも

(次ページ右下にも記載あり)

① 藤七温泉 彩雲荘	② 蒸ノ湯温泉	③ 後生掛温泉
④ 玉川温泉	⑤ 新玉川温泉	



3 ごしょうげ 後生掛温泉

ユニークな箱蒸し風呂や美肌効果のある泥風呂、打たせ湯など7つの湯が楽しめる。地熱を感じる床に寝転ぶ「オンドル」の日帰り利用も可能。

- ◆宿泊料金: 1室2名でご利用の場合 1泊2食付 1名 19,000円～
- ◆日帰り入浴: 800円 (10:30～15:00 最終入場 14:00) / オンドルスペースもえぎ 2,000円
- ◆ランチ: あり
- ◆営業期間: 通年 ※休業日・毎週火曜日 (不定休あり・要問合せ)
- ◆お問い合わせ: 旅館部 0186-31-2221 / 湯治部 0186-31-2222

酸性泉の湯

pH3未満の温泉。八幡平の西・秋田焼山から湧く。刺激が強く、各種細菌類に対して強力な殺菌力を発揮する。



4 たまがわ 玉川温泉

pH1.2、日本一の強酸性は国内屈指の温泉。1カ所から毎分9,000ℓという日本一の湧出量と自然研究路の岩盤浴が時間の宿。強酸性の温泉は希釈した湯船もあり、安心して入浴できる。

- ◆宿泊料金: 旅館部 1泊2食付1名10,600円～/自炊部素泊まり5,650円～
- ◆日帰り入浴: 1,000円 (10:00～15:00 最終入場 14:30)
- ◆ランチ: あり
- ◆営業期間: 旅館部4月中旬～11月末、自炊部4月中旬～11月中旬
- ◆お問い合わせ: 0187-58-3000 (玉川温泉・新玉川温泉予約センター)



5 しんたまがわ 新玉川温泉

日本の「山岳温泉リゾート」。湯治はもとより、自然を満喫するための癒しの空間作りを目指しているホテルタイプの宿。玉川温泉と同じ強酸性の温泉は刺激的!

- ◆宿泊料金: (1室4名利用の場合) 1泊2食付1名14,450円～
- ◆日帰り入浴: 1,000円 (10:00～15:00 最終入場 14:30)
- ◆ランチ: あり
- ◆営業期間: 通年 (冬季は田沢湖からのみアクセス可) ※11/30～12/12休館
- ◆お問い合わせ: 0187-58-3000 (玉川温泉・新玉川温泉予約センター)

単純温泉の湯

八幡平中腹～山麓部に多い。肌にやわらかい湯。赤ちゃんから高齢の方まで安心して入浴できる。pH8.5以上は「アルカリ性単純温泉」。



6 はちまんたいこうげん 八幡平高原ホテル

おかえりなさい、「高原のわが家」へ。秋田八幡平スキー場の目の前。暖炉のあるロビーはお客様との憩いの場。手作りの健康食や朝のラジオ体操で、皆様の故郷づくりと健康づくりを実践。

- ◆宿泊料金: 1泊2食付1名12,250円～(長期滞在型の宿泊割引あり)
- ◆日帰り入浴: 600円(10:00～16:00)
- ◆ランチ: なし
- ◆営業期間: 4月上旬～翌1月上旬
- ◆お問い合わせ: 0186-31-2011



7 はちまんたい 八幡平温泉 ゆらら

ひろびろ湯船とご当地料理でのんびり。ホールには八幡平の情報がいっぱい。「八幡平森林セラピー基地」として、癒しの森のアドバイザー・森林セラピストが常駐し、心身の安らぎのお手伝い。

- ◆宿泊料金: なし (日帰り利用のみ)
- ◆日帰り入浴: 600円(10:00～18:00 最終入場 17:30)
- ◆ランチ: あり
- ◆営業期間: 4月上旬～10月31日 ※休業日: 毎週月曜日 (祝祭日の場合は翌日)
- ◆お問い合わせ: 0186-31-2288



8 民宿 えのぐ箱

たくさんの絵がお出迎え。どなたでも安心して泊まれる宿。小型犬は同伴OK。玉川温泉湯治の拠点に便利 (車で17分)。素泊まり・朝食付きのみ当日夜9時までのご予約・入館OK。

- ◆宿泊料金: 1泊2食付7,100円～、1泊朝食付5,000円/素泊まり4,200円～
- ◆日帰り入浴: なし (宿泊者のみ利用可能)
- ◆ランチ: なし
- ◆営業期間: 通年
- ◆お問い合わせ: 0186-31-2632



9 しばり 志張温泉元湯

「神湯」と呼ばれる極上の泉質。秋田八幡平温泉郷の入口にある谷あいの宿。とろみのある温泉はゲルマニウム含有の珍しい泉質で、肌が生まれ変わると評判。日常を忘れて、穏やかな時間を過ごすことができる。

- ◆宿泊料金: 素泊まり 1名 5,900円
- ◆日帰り入浴: 600円 (10:00～18:00)
- ◆ランチ: なし
- ◆営業期間: 通年
- ◆お問い合わせ: 0186-25-8181

その他温泉以外の宿・レジャー施設



10 ごしょうげおおもま 後生掛(大沼)キャンプ場

湯めぐりや自然散策の拠点に便利。ブナ原生林の閑静なキャンプ場。ソロキャンや少人数におすすめ。近隣には多彩な温泉群や登山道があり、キャンパーのほか湯めぐりや登山目的の方にも愛されている、車中泊もOK。

- ◆宿泊料金: キャンパサイト2,600円～(AC電源利用+600円) フリーサイト1名800円+駐車料500円(バイク200円)/車中泊1名300円+駐車料500円
- ◆ランチ: なし
- ◆営業期間: 6月1日～10月18日
- ◆お問い合わせ: 0186-31-2662



11 あきたはちまんたい 秋田八幡平スキー場

滑ったあとのチャーシュー麺は最高! 11月下旬～5月上旬の長いシーズンと、良質のパウダースノーゲレンデ、美味しい食堂メニューが自慢。8月上旬にはヤナギランの群生地となる、隠れた花の名所。

- ◆利用料金: ホームページ参照 (下記二次元コードより)
- ◆ランチ: あり
- ◆営業期間: 11月下旬～5月中旬の9:00～16:00 (1月中旬～3月中旬は土日祝のみ営業)
- ◆お問い合わせ: 0186-31-2020

温泉郷内ランチ情報

- ① 藤七温泉 彩雲荘
まだまだ涼しい日が多い場所だから、シンプルであつたか〜いソバやうどんではっきり
11:30～14:00(ラストオーダー13:30)
- ② 蒸ノ湯温泉
熊肉カレーやいぶりがっこ入りかき揚げソバなどの創作料理! 登山用弁当も承ります
11:00～14:00 ※朝夕など時間外は要問合せ
- ③ 後生掛温泉
営業日・営業時間は公式HP参照

- ④ 玉川温泉
稲庭うどんや比内地鶏など秋田名物をセットにした2種類の「秋田三味定食」がおすすめ
平日11:45～13:45(ラストオーダー13:15)
土日祝祭日11:30～14:00(ラストオーダー13:30)
- ⑤ 新玉川温泉
秋田の食材を取り入れたランチをご提供しています
12:00～13:30(ラストオーダー13:00)
- ⑦ 八幡平温泉 ゆらら
地元の新鮮な食材を使ったランチが好評
11:00～14:00 ※月曜定休
- ⑪ 秋田八幡平スキー場
肉厚手づくりのチャーシュー麺がイチオシ。スキー場利用者以外もOK!
11:00～14:00(スキー場営業シーズン内)

⑥ 八幡平高原ホテル	⑦ 八幡平温泉 ゆらら
⑧ 民宿 えのぐ箱	⑨ 志張温泉 元湯
⑩ 後生掛(大沼) キャンプ場	⑪ 秋田八幡平 スキー場

はちまんたい 八幡平エリアマップ

北東北3県のほぼ中央!みちのく旅の拠点にも便利な秋田八幡平。温泉や散策でのんびりすごして、お気に入りの場所を見つけよう!
※各宿・施設の番号はp11~p12の情報の番号と同一になります

- 土産物
- 温泉
- ランチ(食堂)
- 登山道
- 駐車場
- 「ドラゴン号」主な停車場
- おすすめ散策路
- トイレ
- 「ドラゴン号」通行区間

※当ページの道路及び登山道は略図です。登山の際は必ず地図をお持ちください。
※登山道の閉鎖状況については八幡平ビジターセンターにお問合せください。

川のせせらぎを聞きながら気軽に森林浴(1周30分)
志張ふれあい散策路

- 9 志張温泉元湯
- 8 志張温泉
- 7 大深温泉
- 6 後生掛温泉
- 5 大沼温泉
- 4 アスピーライン入口
- 3 志張温泉
- 2 道の駅かづのあんたらあ(乗車のみ)
- 1 JR鹿角花輪駅

- 「ドラゴン号」主な停車場
- 1 JR鹿角花輪駅
 - 2 道の駅かづのあんたらあ(乗車のみ)
 - 3 志張温泉
 - 4 アスピーライン入口
 - 5 大沼温泉
 - 6 後生掛温泉
 - 7 大深温泉
 - 8 蒸ノ湯温泉
 - 9 八幡平頂上
- ※ドラゴン号の詳細は裏表紙参照



沼をとりまくブナ林と湿原の花々が魅力(1周40分)
大沼自然探勝路

植生密度日本一のオオシラビソ樹林と高山植物の宝庫(1周2時間)
八幡平山頂自然探勝路

高山植物群生景観の名所(往復30分)
大場谷地自然探勝路

巨木と奇木の神秘的森(1周60分)
蓬莱境自然探勝路

生きた火山現象を間近で観察(1周50分)
後生掛自然研究路

毎分9,000ℓの湯が噴き上がる“大噴”は必見!(1周30分)
玉川温泉自然研究路

秋田焼山登山道の立入禁止について
秋田焼山登山道(ベコ谷地~焼山避難小屋間)は、高濃度の有毒ガスの発生が確認されたため立入禁止となっています。湯ノ沢(硫黄取り沢)へは行けません。

来訪前の給油は十分に!
市街地を過ぎるとガソリンスタンドはありません。
【八幡平山頂見返峠からの最寄りガソリンスタンドまで】
・鹿角市…約1時間 ・仙北市…約1時間半
・八幡平市…約1時間
定休日がある場合があります。インターネット等で情報をご確認ください。

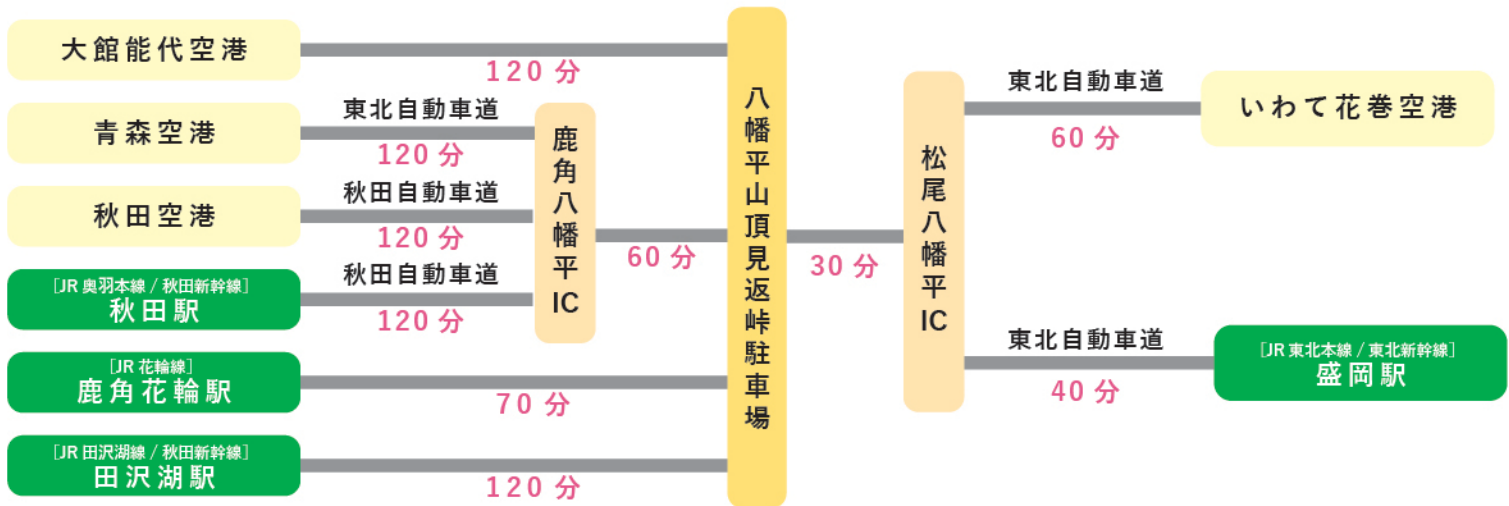
松川温泉上~蓬莱境下地滑りによる道路崩落のため2027年(令和9年)春まで通行止め予定(山頂方面との通り抜け不可)

蒸ノ湯ゲート(秋田県側)山頂見返峠
御在所ゲート(岩手県側)山頂見返峠
4月15日~夜間通行止め(日中通行可)
4月下旬~夜間通行止め(日中通行可)
3月15日~夜間通行止め(日中通行可)
4月下旬~夜間通行止め(日中通行可)

お車でのアクセス(八幡平山頂見返峠駐車場まで)

秋田県・青森県側より

岩手県側より



二次アクセスのご案内 ※詳細は各社に確認

「ドラゴン号」(完全予約型自家用送迎サービス)※前日16時まで要予約



秋田県側より

定期路線バス ※1日1往復



愛☆のりくん (大館能代空港発着乗り合いタクシー) ※空港発は15分前まで、空港行きは2時間前まで要予約



岩手県側より

八幡平自然散策バス・定期路線バス



すべてのお問合せ・イベントお申込み (受付時間: 9:00 ~ 17:00)

冬期 (~4月10日)

(一財)自然公園財団八幡平支部

〒018-5141 秋田県鹿角市八幡平字西の下32

TEL: 0186-25-8846

FAX: 0186-25-8847 携帯電話: 090-2270-8205

春夏期 (4月11日~)

八幡平ビジターセンター

〒018-5141 秋田県鹿角市八幡平字大沼2

TEL: 0186-31-2714

FAX: 0186-22-4008 E-MAIL (通年): hachimantai@npfj.or.jp

↓ 各種イベント情報、八幡平の最新情報はコチラから ↓



(イベント・自然情報) ホームページ



(大沼周辺情報) FACEBOOK



(山頂情報) FACEBOOK



INSTAGRAM



YOUTUBE